



きんひが通信

令和元年11月12日

<第29号>

校長 平塚智康

へこたれずにがんばったマラソン大会

11月6日（水）、秋晴れの下、全校マラソン大会が開かれました。

マラソンは、長い距離を走らなければならないので、とってもつらい競技です。途中で、息がゼーゼーして苦しくなったり、横腹がいたくなったり、もうやめたいと思うこともありますよね。けれども、みんな、途中で逃げ出さずに、最後までがんばってゴールまで走りぬきました。これを「完走」と言います。順位やタイムが良いにこしたことはないけれど、先生は何より「完走」することが大切やと思っています。

「完走」したみなさん、本当によくがんばったね。りっぱですよ。



「苦しかったし、がんばったマラソン大会」 5年生

わたしは、マラソン大会で2キロメートルを完走しました。とてもうれしいです。初めてのコースでとってもつらかったです。初めの2周を走ったときからきつくて、でも歩けなかったです。

わたしは、練習の時に吐いて、つらい思いをして、「もう走りたくない!」と思いましたが、とうとうマラソン大会の日が来てしまいました。結果は、おなかがいたくて頭もいたいし、はきけもして、のどはがらがらで、すごく苦しかったです。それで、38位でタイムは16分01秒でした。練習の時は、16分00秒だったので1秒おちてしまいました。でも、練習の時は40位で、本番は38位と順位は2位上がって、とってもうれしいです。

わたしは、忘れられない言葉があります。それは、もうダメだと思って立ち止まったときに、Nさんが「みんなで完走しようぜ。」と言ってきて、わたしの立ち止まった足はどんどん前に進んで、うれしい気持ちでいっぱいになって泣いてしまいました。でも、立ち止まるたびに、Nさんの言葉を思い出して、前へ前へと進んでいきました。

やがて、そのうれし涙は、喜びの涙と悲しみの涙となり、わたしはなんの涙かわからなくなりました。ゴールした後も少し泣いていました。

今でも、あのNさんの言葉は、心にのこっています。Nさんの言葉を心から念じて過去にもどって、またもう一度マラソン大会をやり、もっと順位を上げて、タイムも速くなれたらなと思います。来年もまたがんばります。

来年は、小学校最後のマラソン大会になるので、すごくいいタイムでめっちゃいい順位で全力で走りぬきたいと思います。

Ⓟ 「みんなで完走しようぜ!」・・・Nくんの言葉に勇気づけられて、つらかったけど、最後まで走ることができたんですね。自分もしんどいのに、友達を励ますことのできるNくんはすごいね。そんな友達の言葉を、自分のパワーにできたHさんも、すてきです。マラソンは、個人競技だけど、つらいことをこのようにみんなで励まし合って乗り越えていくということもあるんやね。先生は、この作文を読んでいて、とっても感動しました。

しんどい子や苦しんでいる子、悲しんでいる子をいたわり、勇気づけることのできる「やさしい心」、そして少々のことではへこたれない、くじけない「たくましい心」を、育てていきたいですね。

平日にもかかわらず、応援にかけつけ、温かい声援を送って下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

マラソン大会 各学年 1位

【1年】	男子 1位 :	女子 1位 :
【2年】	男子 1位 :	女子 1位 :
【3年】	男子 1位 :	女子 1位 :
【4年】	男子 1位 :	女子 1位 :
【5年】	男子 1位 :	女子 1位 :
【6年】	男子 1位 :	女子 1位 :

すごいね!

※表彰：1～3年は男女混合10位まで、4～6年は男女各5位までの入賞者、となります。